

第37回「Qの会」

研修会開催

11月17日香川大学において「Qの会」第37回研修会が開催されました。今回は「糖尿病看護 きほんのき」というメインテーマで講演、グループワークが行われました。

講師は回生病院 糖尿病看護特定認定看護師 西山紀子先生「糖尿病の治療とケアのきほん」と香川大学附属病院 糖尿病認定看護師 日野日登美先生をお迎えし「糖尿病療養支援のきほん」について講演がありました。「療養指導のお悩み解決」というテーマでグループごとに分かれ、困っていることを出し合いグループ内でテーマを決めて意見交換を行いました。グループごとに意見発表を行いました。

研修会アンケート結果

第37回研修会参加47名のうち42名より回答をいただきました。今回の研修参加者の糖尿病看護の経験年数は、1〜3年3名・4〜10年12名・11〜20年11名・21年以上10名でした。

講演について、学んだことを現場で活用できるかという質問に対して、あまりできない・ほとんどできないという回答はありませんでした。

講演会についての意見として「きほんの「き」とは何かを改めて考えさせていたたく機会となりました。」グループディスカッションについて「今回のように事例とかでなく自由にグループワークできるのが問題解決に繋がると思いました。時間が足りなかった。楽しく学習できました。」「同じ悩み、様々な悩みを聞き、対応策も考えていただき、少しリフレッシュできました。」という意見がありました。

今後の研修会のテーマについて「患者教育」「災害」「ポンプ療法」が多くありました。理事の間でもグループワークは好評で、今後もこういう機会を増やしてもいいのではという意見がありました。



西村亜希子先生 JADEN 20 AWARD受賞

香川大学医学部看護学科教授 西村亜希子先生が第29回日本糖尿病教育・看護学会学術集会で AWARDを受賞されました。



香川県糖尿病療養指導士看護ネットワーク「Qの会」

第38回研修会のご案内
日時：2025年6月22日（日） 9時30分から16時30分
場所：香川大学医学部看護学科305教室

講師：香川大学医学部附属病院看護部 日本DMAI隊員 熊野耕先生
メインテーマ：災害時の糖尿病療養支援に必要なこと
★ホームページから申し込みください

学会・研修会のご案内

認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会をお知らせします。

★第68回日本糖尿病学会年次学術集会：第2群4単位

日時：2025年5月29日（木）〜31日（土）
場所：岡山コンベンションセンター他

★第12回JADDEC年次学術集会：2群2単位

日時：2025年7月19日（土）〜20日（日）
場所：パシフィコ横浜

「私がCDEJを目指したきっかけ」

香川労災病院 糖尿病療養指導士 山原 真由

私がCDEJを取得しようと思ったのは、より深い知識を持ち糖尿病患者さんに寄り添える看護がしたいと感じたからです。私には糖尿病を患う同居の祖母が居りました。看護学校に通う頃には視力障害や指先の感覚障害が進み、看護師である母親が手技を手伝うようになりました。看護師として就職してからは母親の代わりに祖母の病院受診に付き添ったり、血糖測定やインスリン注射を手伝ったりと、今までお世話になった恩返しのために行っていました。その頃は糖尿病内科に配属されており、日々の業務でも糖尿病患者さんとかかわりながら指導を行い、なぜ覚えられないのか、なぜこちらの指示を守ってくれないのかなど自分の経験年数や技量に劣等感を感じながらも業務として淡々とこなしていました。「糖尿病患者さんとはこういうもの」とレッテルを貼って接していたのだと思います。それが日常の中にも出ていたのか、ある朝祖母が「孫にこんなことさせる自分が情けない。昔は自分でできたのに。もうせんでいいんよ。どうせもうすぐ死ぬんやから」といい、インスリン注射を拒みました。仕事に行かなくてはいけないのに何をわがまま言っているんだとその時は思い、適当に相槌を打ちながらいつも通りインスリンを施注して仕事にいきました。しかし、その日はずっとその言葉が頭から離れず、いつもならない小さなミスは何個もして患者さんにも先輩にも迷惑をかけてしまいました。

嫌々やっていたわけではないけれど自分の何気ない態度から大事な家族にそう思わせてしまったことにとても後悔し、今までできていたことができなくなってしまう苦しいのは患者さんだと痛感しました。

今後は信頼関係を築き、患者さんが困っていることを少しでも表出してもらえるように、CDEJとして経験を積み重ねていきたいと思っています。

◆編集後記 去年までは暖冬でしたが今年の冬は寒かったですね。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の患者さんも多く自己管理の難しさを感じました。

小松原たか子・串田久美